



令和元年度修了式に代えて～くりっこの皆さんへ～

元気で過ごしていますか？突然、臨時休校となり、皆さんはたくさんの不安や我慢の中で経験のない日々を過ごしていることでしょうか。「友達と会いたい」「卒業する6年生を見送りたい」「スポ少の練習をしたい。大会はどうなるのかな？」など、悩みながら毎日を送ってきたと思います。しかし、今、世界中がこの感染症を克服しようと、みんながそれぞれの立場でがんばっている時期です。家族や地域の方々、そして学校の先生の教えをしっかりと守って、まずは心も体も元気でいられるように気持ちを引き締めてがんばりましょう。14日に行われた卒業式の日、皆さんからの手作りプレゼントやお別れのメッセージを「輝」学年25人にお渡ししました。皆さんの温かい気持ちを感じて、卒業生はとても喜んでくれました。中学校の制服姿の6年生はとても立派でした。式の写真などは、家の人と一緒に学校のホームページで見てくださいね。

さて、この一年間、全校では「あいさつ運動」をがんばりましたね。皆さんの明るい笑顔といっしょにさわやかなあいさつがかわされるようになり、西明寺小学校は一層元気になりました。また、それぞれの学級で決めた学級目標に向かって、みんなが心を一つにして楽しい毎日を送ることができていたのが、校長先生にとっては一番嬉しかったことです。どんなことでもくりっこみんなで協力できる西明寺小学校をととても誇らしく思います。

また、通知表には、後期の頑張りが表れています。担任の先生は皆さん一人一人のことを思い、いいところをいっぱい褒めてくださっています。自分のもっている力に自信をもって、新しい学年でもさらに努力を続けてくださいね。3月に勉強することになっていた内容については、4月になってから勉強をしますので心配しなくてもだいじょうぶです。2月までの勉強を春休み中にしっかり復習したり、まだ勉強していないところを予習したりしておきましょう。それから、4月に使いますので、教科書やドリルなどをなくさないように整理し、いつでも持ってくるができるようにしておいてくださいね。

それでは、新学期まで、健康と安全に気をつけて残りの春休みを元気に過ごしてください。

保護者の皆様へ～連絡とお願い～

- 今後の見通しについては、19日以降に示される国及び県の方針を受け、23日(月)午後から開催される仙北市臨時校長会の後に、学校連絡メールでご連絡いたしますので、お待ちください。(全校出校日、始業式、入学式、第1回PTA学習参観日、修学旅行への対応等)

くりっこたちの活躍紹介

【水泳】第42回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会・秋田県予選会
令和2年2月23日 主催：秋田県水泳連盟

○4年H. Kさん

- | | | | |
|-----|----------|---------------|------------|
| 第1位 | 年齢区分：10歳 | 種目：50M背泳ぎ | 記録：35秒59 |
| 第2位 | 年齢区分：10歳 | 種目：200M個人メドレー | 記録：2分57秒79 |
| 第2位 | 年齢区分：10歳 | 種目：50Mバタフライ | 記録：35秒67 |

【令和元年度仙北市スポーツ賞 受賞者・団体】

- 奨励賞：6年 H. Kさん(水泳) 3年 R. Tさん(空手)
4年 H. Kさん(水泳) 5年 K. Sさん(テニス)

○団体奨励賞：西木Jr.B.C (野球)

【プログラミング】あきたキッズプログラミングアワード 主催：秋田魁新報社

- アイディア部門「誰かのためにつくりたい」と思うもの 小学生～中学生10組選出
ファイナリスト(最終審査)出場者に決定！
6年 K. Hさん O. Hさん * ファイナル審査は5月5日にさきがけホールで開催予定

仙北市読書感想文コンクール入賞作品を紹介します

○仙北市教育長賞 「やさしい友達」 3年 S. I さん

読んだ本 『わすれんぼうにかんぱい！』

ぼくは、『わすれんぼうにかんぱい！』という本を読みました。その理由は、ぼくもわすれんぼうでまっ
ているから、どんな内容の本なのか、気になったからです。主人公は、まゆみという女の子です。まゆみ
のお母さんは、病気で長く入院することになってしまいます。そのため、まゆみはおばあちゃんの家に行くこ
とになって、学校も「かえで小学校」というところに転校します。まゆみはお母さんの入院を思い出すとさ
みしくなるので、新しい担任のひとし先生は、「がんばって、わすれんぼうになろうよ、な。」と言いました。
そして、まゆみはこの学校でいろいろな「わすれんぼう」と出会います。例えば同じクラスのしょういちろ
うは、ベルトを忘れてハンカチをベルトの代わりにしていました。同じクラスのこずえのおばあちゃんには
「わすれ」という言葉がつく話を教えてもらいました。ひとし先生は、電車にくだものを忘れて、折り返し
てくる電車を待ちました。こんなふうに、まゆみはみんなで楽しくすごしていくうちに少しずつわすれんぼ
うになっていきました。ぼくはこのお話を読んで、朝礼で校長先生がお話の準備を忘れて、タペのごはんの
話をした場面が心に残りました。なぜなら、校長先生までわすれんぼうになっていることにびっくりしたか
からです。そのタペのご飯の話で、みその作り方の話をしてくれました。それからタペ半分だけ食べて残した
切り干し大根がまた今朝のお膳にでてきて、がんばって食べてきた話もおもしろかったです。校長先生はこ
んな話をして全校のみんなを笑わせてくれたところがいいなあと思いました。ぼくも学校で忘れ物をするこ
とがあります。ぼくが忘れ物をした時は、連絡帳に書いたり家に取りに行ったりします。ぼくはわすれんぼ
うにならないように気をつけたいと思いました。もし、なってしまっても自分で考えて行動したいです。ま
ゆみの友達や先生は忘れん坊になった時、まわりの人にたすけてもらったり、楽しいアイデアを思いつい
たりしていました。このお話に出てくる友達はみんなやさしくていいと思います。あと、親切だと思いま
した。友達が忘れることがあっても、それを面白おかしく解決してくれるからです。また、まゆみはお母さん
の入院を思い出すと悲しくなってしまいます。そうならないように、まゆみが悲しいことを忘れられるよ
うに、友達がいろんな「わすれ」をしてくれていて、やさしい友達だと思いました。ぼくは、困っている友達、
悲しんでいる友達を心配する友達になりたいです。なぜなら、友達を心配できていないことが今までであっ
たからです。まゆみのような子の悲しみをなくしてあげたいです。

○仙北市教育長賞 「自信をもって助ける力に」 6年 S. Hさん

読んだ本：『ぼくとニケ』

ぼくとニケ。その名前は、優しい青緑色のきれいな本に書かれていた。その本を手にとると目がクリクリとし
た可愛い猫が座っている。そんな本にひかれてページをめくる。そこから本の日常が始まった。源太の家の玄関
に、今学校でうわさの不登校の仁菜が、段ボールをかかえて立っていた。段ボールの中には真っ黒になるほど汚
れた子猫が入っている。仁菜のお母さんは猫ざらい。拾ってきた猫をこれからどうしようか、仁菜は幼なじみの
玄太に頼るしかなかった。玄太の家族には仁菜のお母さんの猫ざらいもよく理解した上で飼ってもらう流れにな
った。その猫の名前は、二毛だからニケ。お風呂に入れてあげたら三毛猫だったけど、やっぱりニケと呼ぶこと
にした。私は家で犬や猫を飼ったことがない。私が小さい頃はアニメの影響で集めたダンゴムシをお気に入りの
箱に入れて育てたことはある。本の表紙にあるかわいらしい猫を飼うなんて、私にとっては憧れだ。憧れや興味
だけで犬や猫飼う人は少なくない。さらに、無責任にも捨ててしまったり、飼育をほうきしてしまう人も少なく
ない。仁菜のおばさんは保護団体の人で、保護した猫を預かっている。その活動は「保護猫ボランティア」とい
う。私はこのページをめくるまでそのようなボランティア活動があることを知らなかった。捨て猫や野良猫をゲ
ージの中だけで飼育するのではなく、保護ボランティアに登録した人達と、自宅で一緒に過ごさせることができ
る。捨て猫になってしまった猫も、人と自然にコミュニケーションがとれるようになる。そして、新しい飼い主
を迎えてあげることができるのだ。私は小学5年の夏休みに保呂羽山へのキャンプに参加した。大曲仙北地区の
小学生が希望して参加するキャンプだった。自分の小学校から自分一人だけの参加だった。それでも他校の友達
と二日間の班活動を通してコミュニケーションをとって、責任ある行動を共にした。キャンプを通じて自分に自
信を持って自宅に帰った記憶がある。本の中の仁菜。不登校のきっかけは、仁菜の髪の毛のちぢれた天然パーマ。そ
れを無責任にも学校の先生や友達がからかったり、笑ったりしたものだから学校に行かなくなった。無責任な行
動や言動は、動物と人間の関係をこえて見直していかなければいけない課題だと、私は思う。世の中では自分勝
手な行動をとったり、仲間外れにしたり、集団に入れない、マナーを守れない人達がたくさんいる。自分勝手な
人が多い世の中だと思う。私は今まで、自分に自信がもてなかった。しかし、私はこの本を読んで、人間同士、
そして人と動物もコミュニケーションを大切にすることで、しっかり共存し合えるということがわかった。これ
から私は自信をもって、声を掛け合い、助ける力になりたいと思う。